

# 石神井教会 灰の祈り

2021年2月17日「灰の水曜日」

## ◆祈りへの招き

司式者 キリストにある兄弟姉妹、今日わたしたちは灰の水曜日を迎えました。

人がいつか死ぬ存在であることのしるしとして、また悔い改めのしるしとして灰を用いることは、さまざまな宗教伝承に古くから見られる習慣です。灰の水曜日にわたしたちは、自分が神によって土の塵から形づくられ、いつの日かこの塵に帰ることを思い出すのです。

レントの初日である灰の水曜日を記念し、灰を額につけることの意味を心に刻みましょう。

## ◆讚美歌 21-294「ひとよ、汝が罪の」

### ◆悔い改めへの招き ヨエル書2:12-19

主は言われる。

「今こそ、心からわたしに立ち帰れ  
断食し、泣き悲しんで。  
衣を裂くのではなく  
お前たちの心を引き裂け。」

あなたたちの神、主に立ち帰れ。

主は恵みに満ち、憐れみ深く  
忍耐強く、慈しみに富み  
くださった災いを悔いられるからだ。

あるいは、主が思い直され

その後に祝福を残し

あなたたちの神、

主にささげる穀物とぶどう酒を  
残してくださるかもしれない。

祭司は神殿の入り口と

祭壇の間で泣き

主に仕える者は言うがよい。

「主よ、

あなたの民を憐れんでください。

あなたの嗣業である民を

恥に落とさず

国々の嘲りの種と

しないでください。

『彼らの神はどこにいるのか』と

なぜ諸国の民に

言わせておかれるのですか。」

そのとき

主は御自分の国を強く愛し

その民を深く憐れまれた。

主は答えて、その民に言われた。

「見よ、わたしは

穀物とぶどうとオリーブを

お前たちに送り、飽き足らせよう。

お前たちが国々の中で

恥を受けることを

わたしは二度と許さない。

## ◆罪の告白

司式者 日々の生活を顧みるたびに、わたしたちは自分に失望し、自分を恥じるものであります。

会衆 いただいた可能性を生かさず、あるべき姿から離れて、望ましい生き方をせずにきました自分を知っております。

司式者 ときに、わたしたちは、自分が過去の虜になっていて、現在のことばかりに目を奪われている、という感覚に襲われます。

会衆 過去に縛られ、一つのことから抜け出せないのです。

主よ、わたしたちは変わることができるのでしょうか。

\*心の深奥にある祈りの言葉を紙に記します。

◆讚美 21-430「とびらの外に」

\*歌っている間に、各自、前に進み出て、  
祈りの言葉を記した紙を聖餐卓上の  
ロウソクの火で燃やします。

◆御言葉を求める祈り 詩編119より

司式 主はわたしに与えられた分です。

会衆 御言葉を守ることを約束します。

司式 御顔が和らぐのを  
心を尽くして願い求めます。

会衆 仰せのとおり、  
わたしを憐れんでください。

司式 わたしは自分の道を思い返し  
立ち帰ってあなたの定め  
足を向けます。

会衆 わたしはためらうことなく  
速やかにあなたの戒めを守ります。

司式 神に逆らう者の縄が  
わたしをからめとろうとしますが  
わたしはあなたの律法を  
決して忘れません。

会衆 夜半に起きて  
あなたの正しい裁きに  
感謝をささげます。

司式 あなたを畏れる人、  
あなたの命令を守る人  
わたしはこのような人の友となります。

会衆 主よ、この地は  
あなたの慈しみに満ちています。  
あなたの掟を  
わたしに教えてください。

◆聖書 マタイによる福音書6:1-21

1「見てもらおうとして、人の前で善行  
をしないように注意しなさい。さもないと、  
あなたがたの天の父のもとで報いをいた

だけないことになる。2だから、あなたは  
施しをするときには、偽善者たちが人から  
ほめられようと会堂や街角するように、  
自分の前でラッパを吹き鳴らしてはなら  
ない。はっきりあなたがたにしておく。  
彼らは既に報いを受けている。3施しをす  
るときは、右の手のすることを左の手に知  
らせてはならない。4あなたの施しを人目  
につかせないためである。そうすれば、隠  
れたことを見ておられる父が、あなたに報  
いてくださる。」

5「祈るときにも、あなたがたは偽善者  
のようであってはならない。偽善者たちは、  
人に見てもらおうと、会堂や大通りの角に  
立って祈りたがる。はっきりしておく。  
彼らは既に報いを受けている。6だから、  
あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋  
に入って戸を閉め、隠れたところにおられ  
るあなたの父に祈りなさい。そうすれば、  
隠れたことを見ておられるあなたの父が  
報いてくださる。

7また、あなたがたが祈るときは、異邦  
人のようにくどくどと述べてはならない。  
異邦人は、言葉数が多ければ、聞き入れら  
れると思いついでいる。8彼らのまねをし  
てはならない。あなたがたの父は、願う前  
から、あなたがたに必要なものをご存じな  
のだ。9だから、こう祈りなさい。

『天におられるわたしたちの父よ、  
御名が崇められますように。

10 御国が来ますように。

御心が行われますように、

天におけるように地の上にも。

11 わたしたちに必要な糧を  
今日与えてください。

12 わたしたちの負い目を赦してください、  
わたしたちも自分に負い目のある人を  
赦しましたように。

13 わたしたちを誘惑に遭わせず、  
悪い者から救ってください。』

14 もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの

天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。15しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。」

16「断食するときには、あなたがたは偽善者のように沈んだ顔つきをしてはならない。偽善者は、断食しているのを人に見てもらおうと、顔を見苦しくする。はっきり言っておく。彼らは既に報いを受けている。17あなたは、断食するとき、頭に油をつけ、顔を洗いなさい。18それは、あなたの断食が人に気づかれず、隠れたところにおられるあなたの父に見ていただくためである。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。」

19「あなたがたは地上に富を積んではならない。そこでは、虫が食ったり、さび付いたりするし、また、盗人が忍び込んで盗み出したりする。20富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。21あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。」

#### ◆黙想

#### ◆共同の祈り

司式者 すべてが新しく始まるころがあれば、どれほどよいことでしょうか。

会衆 すべての過ちや自己憐憫、心を傷つけてきたあらゆるもの、それらすべてを、着古した上着のように脱ぎ捨て、もう二度と身にまとわなくてもよい。そのような場所があればどんなによいことでしょうか。

司式者 新しいスタート、新しい始まりを望まない人がいるでしょうか。

会衆 すべての失敗、自分を墮落させてきたもの、人との関係における過ちや行き違い、お互いの分裂や対立の原因になってしまったもの、それらすべてを後ろに置いて、前に進み出たいと願わない者がいるでしょうか。

司式者 使徒パウロが記した奨めの御言葉を聴きましょう。

キリストと結ばれる人はだれでも皆、新しい人です。過去は終わり、過ぎ去った。すべてが新鮮で新しいものとなったのです。(コリントの信徒への手紙二 5章17節に基づく)

司式者 わたしたちは、信じることによって希望で満たされます。信仰は、新しい始まりです。過去と異なる新しい未来を開くものです。日々、わたしたちは新たに生まれるのです。

会衆 日々、わたしたちは希望に満ちた命を取り戻します。

司式者 着古した上着を脱ぎ捨てて新たに前進するための、新しい決断の機会が、日々与えられています。

会衆 今このとき、新しい人が創造されていることを知って、わたしたちは新しい決断をいたします。

司式者 過去の束縛から自由にされていることを知って、わたしたちは新しい決断をいたします。

会衆 今このときを充分に生き抜き、未来へと歩み出す自由が与えられております。

司式者 わたしたちは、将来が過去とはまったく異なる新しいものとなることを知っています。それは、単に人間の理想や善意の結果としての将来ではありません。すべてを赦し、新しくする神のお働きによってもたらされる将来なのです。

司式者 共に祈りましょう。

会衆 神よ、わたしたちを赦してください。過去の束縛から自由になることを妨げる、わたしたちの恐れや愚かさを、お赦してください。あなたの助けによってわたしたちが「新しい人」となれることを信じさせてください。すべてを赦し新たにしてくださるあなたの霊をお迎えすることができるよう、わたしたちの扉を開かせてください。着古した上着を脱ぎ捨て、喜びと驚きと信仰のうちに、あなたが与えてくださる未来を迎えることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

◆讃美 21-473「世界の望みなる主よ」

#### ◆灰の祝福

司式者 主よ、この灰を祝福してください。この灰が、わたしたちにとって、罪と悔い改めと希望のしるしとなりますように。

#### ◆祝福

司式者 神の恵みによって強められ、新しい命に生かされ、仕えるために、この世へと出て行きましょう。  
御国の糧であるイエス・キリス

トがあなたがたを守られます。すべての人のために苦しめられた神の小羊が憐れみに満ちた御顔をあなたがたに向けてくださいますように。

主なる神が、あなたがたの日々を支配し、平和を与えてくださいますように。

会衆 神に感謝。アーメン。

#### ◆退堂（灰をつける）

司式者 退堂する前に、みなさんの額に灰を十字にするします。わたしたちの救いの象徴としてお受けください。

イエス・キリストの御名によって、平和のうちに行きましょう。アーメン。

\*各自、前に進み出て、司式者から灰のしるしを受けてから退堂する。

○本日の「灰の祈り」は、日本キリスト教団出版局発行『世界の礼拝』所収の「灰の式」に「祈りの手紙」ほかを加えて整えています。

## 灰の式

### レント（四旬節）の初日に

1991年にキャンベラで開かれた世界教会協議会第7回総会（1991年キャンベラ）で用いられたこの礼拝式文は、伝統的に守られてきた「灰の水曜日」を再評価し、受難を覚える季節の始まりを強調するために作成されました。この式文の中心を成す悔い改めの祈りとして、北アイルランドにおける和解のための運動にとって重要な拠点であるCorrymeela（コリメーラ）で作られた式文が取り入れられています。

出典: WCC. Geneva 1991 and Corrymeela worshipbook, revised by the editors and Elizabeth Burtzlaff